

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年2月6日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0872100409		
法人名	株式会社 ありが園		
事業所名	グループホーム ありが園	ユニット名	A棟
所在地	〒311-1201 茨城県ひたちなか市阿字ヶ浦町187番地45		
自己評価作成日	平成23年6月24日	評価結果 市町村受理日	平成24年1月26日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年8月26日	評価確定日	平成24年1月24日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>ご利用者様一人ひとりができること、したいことをできる限り対応し、家庭的な雰囲気の中で楽しく穏かに生活して頂ける様支援していきます。 毎日の散歩や家庭菜園作りを通し日々活動的に生活して頂く。 地域交流での清掃活動参加や、地元学生の介護体験学習受け入れ、地域ボランティアとのお楽しみ等。 阿字ヶ浦海岸花火大会、園の庭でテーブル・椅子でゆったり観賞</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は海を見下ろす小高い丘の上に建ち、通所介護事業所や訪問介護事業所など多角的に介護サービスの運営を行う運営者の指導のもとで、職員は安心して介護に取り組んでいる。 事業所は町内の高齢者にとって頼りとなる存在であるほか、地域の子ども達にとっても馴染みの事業所で、利用者と職員で手作りしたお守りを配ったり、駅伝の応援をするなどで交流を図っている。 勤続10年目の職員が指導的立場で温かみのある介護の手本を示すとともに、自らも向上心を持って常に利用者の事を考え、明るい職場づくりの礎となっている。 職場環境が良好で、退職者は少なく新入職員にとっても働きやすい事業所である。</p>
---

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	常に地域密着サービスを踏まえた理念の共有に取り組んだ話し合いをする。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を全職員で作成し、名札の裏面に携帯して共有を図り、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	いつもの散歩コースで挨拶をしたり自治会活動への参加。清掃活動、資源回収、小中学校交流、介護体験、ボランティア	自治会に加入しているほか、利用者は職員と一緒に近くの海岸を清掃したり散歩時に近隣住民と挨拶を交わしている。 地域の小学校の新一年生に利用者と職員で作ったあさり貝の交通安全のお守りを配っている。 利用者は小学校の「あ字っ子フェスティバル」や地域の祭りに参加しているほか、「三浜駅伝競走」では日の丸の旗を振って応援をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	敬老の日に事業所全員でお祝いをし、近所の方々や日頃お世話になっているボランティアも参加していたきゲームや食事を楽しむ。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月に一度開催。 包括、自治会、民生委員、駐在所、地域住民、美容室、ボランティア、学校の先生、家族、利用者など参加者多いと評価いただく。	運営推進会議は利用者とその家族等が輪番制で出席しているほか、地域包括支援センター職員や自治会長、民生委員、駐在所警察官、近隣の旅館経営者で2ヶ月に1回開催し活発な意見交換をしている。 会議では外部評価の結果や運営状況を報告しているほか、時の話題などを中心に話し合い、出た意見等を運営に反映させている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議出席や事故報告や相談をしています。 パンフレット置いていただく。 事業所の変更届	市担当者とは利用者に関する相談などで日頃から連絡を取り合い協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアル作成し研修で身体拘束をしないケアに取り組むよう理解している。 玄関や門は夜間以外開放している。	身体拘束廃止に向けたマニュアルを作成するとともに、週1回マニュアルに基づいて研修を実施し、全職員で正しく理解したうえで玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに努めている。 利用者が外に出た場合は職員が危険のないように付き添い、利用者の気がすむまで一緒に歩いている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を重ねながら利用者や職員からの小さな訴えにも意見として取り上げ、改善に向け話し合う。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	以前に制度利用者があり、職員で学ぶ機会を持ちました。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関して、十分説明はしていますが、後日家族様より問い合わせがあり、再理解をいただいたことがあり、その件について後日スタッフで間で話し合いを持ち情報共有をはかっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月の利用者様の状態をお知らせとして送付したり、面会時にはスタッフより家族様の意見や要望を聞く、又運営推進会議に交替で参加していただき意見交換の場を設けている。	家族等からは面会時や電話で意見や要望を聴いており、出た意見等を記録して職員会議で検討し、運営に反映させるよう努めている。 利用者と家族等に輪番制で運営推進会議への出席を依頼し、意見等を聴いている。 重要事項説明書に事業所の苦情相談受付窓口を明記しているが、第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するまでには至っていない。	重要事項説明書に市介護保険課や茨城県国民健康保険団体連合会などの第三者機関の苦情相談受付窓口を明記することを提案する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の定例会や運営会議に全員出席していただき、意見交換の機会にしている。	毎月行う定例会議の前に職員からアンケートを取り、議題を決定してから開催しているため活発な討議が行われ、出た意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課常に個人の意見を聞く体制がある。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修受講の機会設置		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同業社のイベント参加 他事業所見学		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の気持ちを受け止めることに努め、小さなことにも耳を傾け安心を得るよう寄りそうと環境に気を配る。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様が話しやすい環境に配慮しながら、要望や不安に思っていることを理解しつつ信頼関係に努める。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	おためし入所期間の設定		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の準備をしたり洗濯たたみを一緒にする。 昔の生活習慣で良いところを教えてください 大先輩として見る。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の状態を毎月お知らせとして送付する。 状態変化時は連絡を入れ、家族様の判断や意見をいただく。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出や外泊に働きかけ、家族関係や身内との交流、散髪や美容室の利用で利用者が馴染んで来た生活が途切れない支援。(正月、盆、彼岸、祭り)	職員は利用者と一緒に利用者が住んでいた自宅近くまで行き、馴染みの人と会話を交わせるように支援をしている。 月1回馴染みの理・美容院を利用できるよう職員が付き添い支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	テーブル配置によるおしゃべり散歩する仲間		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後の情報提供 状態変化により退所した後も面会して安心していただく。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所前面接	職員は契約時の聞き取りで把握したこと以外に、事業所の暮らしの中で利用者と1対1で話をしたり、散歩をしながら話をする時間をつくり、利用者の新たな希望や意向の把握に努めて全職員で検討し、希望にそえるよう取り組んでいる。 意見等を言い表せない利用者には家族等から話を聴くほか、職員間で話し合い利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時面接		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送り、日々の記録 バイタルチェックの症状		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	課題分析シート	長期目標は6ヶ月毎、短期目標は3ヶ月毎に見直して介護計画を作成している。 モニタリングを月1回実施し、利用者の心身の状態に変化が生じた場合はその都度必要な関係者と話し合い、意見を出し合っ て現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録 業務日誌		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズに応じた多様な支援の方法を臨機応変に考慮することができる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会活動、理美容院の訪問散髪ボランティア、学校との交流 警察との交流		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前のかかりつけ医への受診支援 症状変化による他医療機関への受診支援 協力医院による月2回の訪問診療支援。	利用前からのかかりつけ医への受診は家族等が付き添うこととしている。 かかりつけ医以外の医療機関を希望した場合は協力医療機関を紹介し、月1回職員が受診支援をしている。 月2回協力医療機関の医師による訪問診療を支援している。 受診結果は異常が無い場合でも家族等に報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日のバイタルチェックや状態観察で気づきを看護師に報告して指示を仰ぐ。		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携医療機関には情報交換や相談しながら支援いただいています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化の場合や終末期のあり方は家族様と同意書を交わしている。看取り介護を経験している。	事業所は看取りの経験があり、利用者が重度化したり終末期を迎えた場合は、家族等に事業所でできることとできないことを説明したうえで意思を確認し同意を得ている。 医療機関と連携を図りながら看取り介護を行い、利用者に合わせてマニュアルを作成するとともに、家族等の協力を得て関係者で支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	外部研修参加や園内研修を積極的に受講して実践力を身につける。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	非常時マニュアル作成し、避難訓練及び消化訓練を実施している。 火災防火点検チェック 地域協力委員	非常時マニュアルを作成し年2回避難訓練を実施するとともに、1回は夜間想定避難訓練を実施している。 緊急時は全職員の携帯電話に一斉メールを発信し、利用者が素早く避難ができる体制となっている。 避難訓練に近隣の住民や旅館経営者の参加を得ているほか、避難訓練後に反省会を開催し全職員出席のもと課題について検討している。 緊急時に備えて非常時の持ち出し袋や医療用持ち出し袋を用意するとともに食糧や飲料水などを備蓄しているが、在庫数や賞味期限を確認するまでには至っていない。	非常時の持ち出し袋の内容チェックに加え、食糧や飲料水等の在庫数や賞味期限の一覧表を作成し定期的に確認することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇委員会を中心に、年間のテーマを決めた支援、研修、言葉かけや人格の尊重、個人情報管理。	接遇委員会を設置して定期的に内部研修を実施したり、外部研修受講の機会を設けている。 職員はトイレ誘導時には周囲の人にわからないように声をかけるなどの配慮をしている。 個人情報は事務所の鍵のかかる書庫に保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	バイタルチェック時の声かけや利用者が話しかけやすいような対応を心がける。			
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人に添った個別ケアを実践している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個人の好みに合わせた美容師に訪問依頼をしている。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事メニュー表 野菜の下ごしらえや配膳参加 食器拭きの手伝い	利用者はできる範囲で野菜の下ごしらえなどを行っている。 職員は利用者の好みを把握しており献立に取り入れたり、楽しみながら食事ができるよう楽しい雰囲気づくりを心がけている。 職員は利用者の食べこぼしを手助けしたり、食欲のない利用者には横に座って声をかけるなど、さりげなく支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人にあった食事のタイミングを検討する。 水分量チェック 食事量チェック		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	介助や自力での口腔ケア		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	24hシートで個人の排泄パターンチェック リハビリパンツをやめ布パンツですごせるよう支援する。	24時間シートによる排泄チェックの効果により、9名中8名が紙パンツ使用から布パンツ使用に改善している。 夜間でも利用者が一人で排泄ができるよう居室にポータブルトイレを置き、排泄の自立に向けた支援をしている。 トイレに手すりを設置したり便座の高さが自由に調整できるようにするなど、排泄の自立に向けた工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便をチェックしながら水分や運動に働きかける支援		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人の体調や状態に合わせての支援	日曜日以外の入浴はいつでも可能である。 入浴は利用者と気の合う職員が対応し、楽しい入浴となるように支援をしている。 入浴を拒否する利用者には声かけを工夫してさりげなく誘ったり、タイミングを図り入浴ができるように支援をしているほか、清拭や着替えによる清潔保持の支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人のペースに合わせた日中の過ごし方を支援して安眠につなげる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬支援と症状の変化の把握		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ひとりひとりの出来ることへの支援 食事の準備と食器拭き 洗濯たたみ、おしぼり丸め		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	地域や海岸への毎日の散歩 季節毎の花見、ドライブ、買物 誕生日祝の夕食支援 家族との外出や夕食、外泊	職員は利用者が毎日、徒歩や車で海岸への散歩や買い物に出かけられるよう支援をしているほか、海浜公園での花見や阿字ヶ浦へのドライブなどで気分転換を図ったり、利用者に行きたい場所を聴き希望にそった外出ができるように支援をしている。 車いす使用の利用者や目の不自由な利用者にも希望を聴き、希望にそった外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理なし		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からのハガキが定期的に送られる。 家族へ電話連絡することもある。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールが大、小と2ヶ所あり、自由に移動している。玄関前に出るとイスがあり、日光浴や目の前の海岸をながめたり庭に出て歩行訓練をしたりする。	玄関や小ホールに椅子を置き、海や外の景色が見えるように工夫をしている。 廊下やトイレに手すりを設置したり、風呂の洗い場に滑り止めマットを敷いて安全に配慮をしている。 居間兼食堂の天井は高く開放的な造りとなっており、天窗を設置して十分な採光を取り入れている。 台所は一般家庭のような造りで、職員からは居間の様子が、利用者からは台所の職員の様子が見渡せるようになっている。 利用者は居間兼食堂でテレビを観たり利用者同士で話をするなど居心地よく過ごしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	本人の落ち着ける居場所をその時に応じて移動出来る支援をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた私物を自宅より持ち込み、安心と心の安らぎにつなげる。 家具、布団、鏡台	居室には広い押入れやチェスト、エアコン、テレビが備え付けられている。 利用者には布団や仏壇、車いす、テレビ、使い慣れた椅子、手作り作品、写真などを家族等と相談して持ち込んでもらい、安心して暮らせるように工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	歩行の安定するバリアフリー 歩行通路への手すり設置		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームありが園

作成日 平成24年1月31日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	運営に関する利用者や家族の意見を第三者機関の相談窓口を明記	利用者家族の意見要望を運営に反映させる	2011.9 重要事項説明書9に苦情相談窓口を追記した	
2	13	非常用食料や飲料水の確認が出来ていない	非常災害時に備えて一覧表を作成し、チェック体制を作る	担当者が毎月消費期限を確認しながら入れ替えをする(一覧表に記入)	
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。